

第十二回農業戦略本部

平成30年10月31日

会議録

場 所	市役所 10階 委員会開催室
参加者	参加者 : 市長、山形市農業協同組合 代表理事組合長、山形農業協同組合 代表理事組合長、やまがた農業支援センター 専務理事、山形大学農学部 教授、東北創生研究所 准教授 事務局 : 農林部長、農政課長、農政課課長補佐、農政企画係長、営農改善係長、農産係長、担い手育成係長、地域農業係長、主事 ワグザバー : 山形市農協 経済部長、山形農協 営農経済部長、全農山形園芸部長

○市長より

10月26日に山形市の中核市移行が閣議決定され、来年4月1日の中核市移行に伴い、シンクタンク機能をもたせた保健所等を新設し、「健康医療先進都市」の実現の契機にすべく準備しております。なかでも、地元産の安全・安心な農産物は、健康医療先進都市の実現に欠かせないものであり、お力添えをお願いします。

前回は、『第6次山形市農業振興基本計画の進捗状況について』報告と、『山形市戦略農産物の決定について』『スマート農業の推進について』『新規就農者（壮年就農・親元就農）の育成・確保について』の3つの事項をご決議いただきました。

本日は、『山形市農政課の補助事業について』、『平成30年の国の米政策変更に伴う山形市の対応と現況について』、『山形市セルリーG I及びJ G A Pの取得について』の3つの事項を報告させていただきます。

討議事項としては、『山形市農業産出額の将来見通しについて』ご議論いただければと思います。
以上、どうぞよろしく願いいたします。

1 議題

【報告事項】

- 『山形市農政課の補助事業について』
- 『平成30年の国の米政策変更に伴う山形市の対応と現況について』
- 『山形市セルリーG I及びJ G A Pの取得について』

【討議事項】

- 『山形市農業産出額の将来見通しについて』

【現地視察】

- J Aやまがた きゅうり団地
- 就農きゅうり農家 佐竹 良輔 氏
- 山形農業協同組合 営農経済部 営農米穀課 副主幹 東海林 賢一 氏

【報告事項】

『山形市農政課の補助事業について』

○農政課長より、資料に基づき説明があった。

『平成30年の国の米政策変更に伴う山形市の対応と現況について』

○農政課長より、資料に基づき説明があった。

『山形市セルリーG I及びJ G A Pの取得について』

○山形市農協経済部長より、資料に基づき説明があった。

【討議事項】

『山形市農業産出額の将来見通しについて』

○農政課長より資料に基づき説明があり、山形大学農学部教授より農業生産の担い手に関する推計について補足説明があった。

○主な意見等

- ・人口減少でどの業種でも人手不足になる中での農業での多様な担い手の確保が重要となる。
- ・中山間地の農家をどうするか、特に有害鳥獣対策が喫緊の課題である。

【討議事項】

- ・議論内容に配慮し、今後山形市農業産出額の将来見通しを立てていく。